



潟上市章

かたがみ  
Katagami

# 市議会だより

第46号



鞍掛沼から望む「スサノオの村」と「スカイタワー」

## 9月定例会

H28(2016)11.01

平成28年(2016年)  
11月1日発行

- 9月定例会 …………… 2～4
- 委員会報告 …………… 5～7
- 一般質問 …………… 8～9  
3氏が市の方針をたず
- 臨時議会・懲罰動議・議会報告会・  
関係私企業との請負契約等 …… 10
- 行政視察研修報告 …………… 11
- 賛否一覧 …………… 12

# 決算を認定

## 平成27年度 一般会計 決算

歳入合計 ..... 169億7,604万6,849円  
 歳出合計 ..... 160億5,228万 259円  
 歳入歳出差引額 ..... 9億2,376万6,590円  
 実質収支 ..... 8億4,203万6,536円

※平成28年度に繰り越した事業に使う財源を差し引いた額

### ● 歳入

歳入総額は16,976,047千円ですが、その主なものです。  
 (単位：千円)

区 分	平成27年度	平成26年度	増 減 額
市 税	2,567,331	2,566,812	519
地方交付税	6,460,263	6,548,805	△ 88,542
国庫支出金	1,855,771	1,930,440	△ 74,669
県支出金	912,156	902,983	9,173
繰越金	871,981	711,216	160,765
市 債	2,246,200	5,945,100	△3,698,900
歳入合計	16,976,047	20,197,208	△3,221,161

### ● 歳出

歳出総額は16,052,280千円ですが、その主なものです。  
 (単位：千円)

区 分	平成27年度	平成26年度	増 減 額
人 件 費	2,901,790	2,846,951	54,839
扶 助 費	2,575,205	2,529,819	45,386
公 債 費	1,643,845	1,593,526	50,319
投資的経費	2,462,877	6,046,003	△3,583,126
歳出合計	16,052,280	19,325,227	△3,272,947

## 平成27年度 特別会計 決算

歳入合計 ..... 98億3,461万5,346円  
 歳出合計 ..... 94億 786万4,541円  
 歳入歳出差引額 ..... 4億2,675万 805円

(単位：円)

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引 額
国民健康保険事業	4,486,930,469	4,285,667,586	201,262,883
後期高齢者医療	279,844,396	278,186,008	1,658,388
介護保険事業	3,666,707,000	3,518,387,297	148,319,703
農業集落排水事業	104,843,788	96,553,046	8,290,742
下水道事業	1,280,810,084	1,216,282,416	64,527,668
合併処理浄化槽事業	7,453,270	6,695,526	757,744
豊川財産区	4,078,048	3,720,028	358,020
下虻川財産区	1,106,299	888,000	218,299
和田妹川財産区	1,722,456	733,276	989,180
飯塚財産区	1,119,536	751,358	368,178
計	9,834,615,346	9,407,864,541	426,750,805

# 2016年 9月定例会

9月6日～28日

## 平成27年度 各会計

9月定例会は、9月6日から28日までの23日間にわたり開催されました。

一般質問者3名、審議した議案は、報告案件3件、条例案2件、単行案1件、一般会計補正予算、特別会計補正予算4件を原案どおり可決、決算12件を認定しました。

### 水道事業会計決算

収益的収入 … **6億2,600万7,108円**

収益的支出 … **5億3,241万2,916円**

資本的収入 … **1億4,193万8,824円**

資本的支出 … **3億7,095万6,099円**

### ◆ 財政指数の推移

普通会計における主な財政指数の推移は、次の表のとおりです。

財政指数	年度	平成27年度	平成26年度	比較
① 実質収支比率 (%)		8.6	6.1	2.5
② 財政力指数		0.33	0.33	0.00
③ 経常収支比率 (%)		90.1	90.5	△ 0.4
④ 実質公債費比率 (%)		6.7	7.7	△ 1.0

### 積立金の状況

(単位：千円)

基金名	H27末現在高	H26末現在高	増減
財政調整基金	2,465,435	2,187,917	277,518
減債基金	200,049	48	200,001
合併振興基金	1,729,592	1,828,723	△ 99,131
ふるさと応援基金	30,619	14,964	15,655
ふるさと創生基金	0	0	0
市役所庁舎建設基金	0	553,418	△553,418
宿泊施設運営振興基金	0	0	0
地域福祉基金	9,576	9,571	5
ふるさと水と土保全基金	7,600	7,596	4
観光振興基金	0	0	0
小学校建築基金	20,893	20,882	11
スポーツ振興基金	1,051	1,050	1
合計	4,464,815	4,624,169	△ 159,354

※ふるさと創生基金、市役所庁舎建設基金、宿泊施設運営振興基金、観光振興基金は平成27年度末で廃止。

### 市債残高

(単位：千円)

区分	会計名	H27末現在高	H26末現在高	増減
普通	一般会計	19,294,168	18,496,412	797,756
	水道事業会計	2,973,391	3,067,568	△ 94,177
法 非 適	農業集落排水事業特別会計	945,408	1,005,225	△ 59,817
	下水道事業特別会計	8,082,989	8,523,039	△ 440,050
	合併処理浄化槽事業特別会計	33,594	34,863	△ 1,269
	計	9,061,991	9,563,127	△ 501,136
合計		31,329,550	31,127,107	202,443

# 平成28年度 各会計補正予算

## ● 9月定例会に計上された補正予算の主なもの

(単位：千円)

項 目	補 正 額
飯塚地区自治会館（仮称）実施設計委託料	5,746
旧八郎瀧ハイツ等解体工事	135,000
旧八郎瀧ハイツアスベスト除去工事	37,800
二田新町児童館（仮称）建築工事	32,143
おいわけ児童クラブ（仮称）整備工事	85,000
各種個別予防接種委託料（B型肝炎予防接種）	1,426
天王排水機場排水管改修工事	2,720
児童生徒派遣費補助金	5,000

## ● 補正後の各会計の予算額

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計	325,373	15,296,071
後期高齢者医療特別会計	1,658	291,923
介護保険事業特別会計	97,680	3,862,865

# 9月定例会に提出された議案等

### ◆ 報告事項

- 平成27年度健全化判断比率
- 平成27年度公営企業資金不足比率
- 平成27年度一般会計予算の継続費精算報告書

### ◆ 条例の改正

全案可決

- 市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例
- 非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

### ◆ 単行案

可決

- 平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金処分

### ◆ 補正予算

全案可決

- 一般会計補正予算（第5号）
- 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

### ◆ 決算の認定

認定

- 一般会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 下水道事業特別会計
- 合併処理浄化槽事業特別会計
- 豊川財産区特別会計
- 下虻川財産区特別会計
- 和田妹川財産区特別会計
- 飯塚財産区特別会計
- 水道事業会計

### ◆ 発議

可決

- 潟上市議会予算決算特別委員会の設置に関する発議（第2号）

### ◆ 人事案件

同意

- 人権擁護委員候補者  
川上 孝氏再任  
(昭和豊川竜毛)

### ◆ 陳情

採択

- 沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情

### ◆ 陳情

不採択

- 中国共産党政府による法輪功迫害の停止と、臓器の強制摘出の停止のため日本政府の正義の行動を求める意見書に係る陳情

## 予算決算特別委員会

9月定例会において、潟上市議会予算決算特別委員会が設置され、全議員で予算・決算関連の議案等を審査しました。13日は大綱質疑を行い、次の点について質問があり、当局からそれぞれ回答がありました。

- 水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 自治会館などの集会施設統廃合の進捗状況について
- マイタウンバスの運行時間等の見直しについて
- 地域公共交通活性化協議会委員について
- 新庁舎のランニングコストについて
- 新庁舎屋上のソーラーパネル設置について
- 国保制度改正に対する市としての今後の対応について

また、27日には各分科会で詳細審査した議案等についてそれぞれ分科会委員長より報告があり、質疑・討論・採決の結果、すべて原案のとおり可決・認定すべきものと決し、特別委員会の審査を終了しました。

委員長	中川	光博
副委員長	佐藤	義久
委員	堀井	克見
委員	藤原	幸雄
委員	戸田	俊樹
委員	児玉	春雄
委員	伊藤	正吉

# 総務文教

市はどう答えたか

## ●平成28年度一般会計 補正予算（第5号）

**問** 旧八郎潟ハイツの建物について、アスベスト撤去の予算を計上しているが、過去にアスベストの使用はない旨の答弁があったと記憶している。また耐震基準は満たしているのか。

**答** 平成25年度にアスベストの簡易調査を実施し数カ所の使用を確認していません。今回、解体するにあたり詳細な調査を実施し解体工費を計上したものです。耐震診断は、平成25年度に実施し、宿泊棟は強度不足により対策が必要、体育館については天井のブレースの補強が必要と診断されており、このことは平成26年5月に説明しています。

**問** 二田新町児童館について、地域要望では児童公園内への建設をお願いしているようだが、なぜ現存地へ新築をするのか。ゆとりのある施設にして、今ある敷

地やJRの土地を駐車場にしたらよいのではないかと。児童公園内は広いので緊急時に集まっても、まだ余裕があるのではないかと。

**答** 二田新町児童館については、今まで地域と共に検討・協議してきました。児童公園内に建設できないかとのことですが、災害が起きた場合を考えますと現存

地への建設が望ましいと考えています。JRの土地について、自治会としてJRと折衝しましたが、回答が得られなかったとのことです。

## ●平成27年度一般会計 歳入歳出決算の認定

**問** 市税の収納率は上向きであるが、不納欠損に至る

までのプロセスは。  
**答** 滞納整理を進めるうえで滞納者の財産調査を行います。ケースによって会社の倒産、生活保護の受給など様々ですが、財産調査により差押可能な財産がなかったとき、また滞納処分を執行することによって生活を著しく困窮させるおそれのあるときに不納欠損処理としています。

**問** スクールバスの運行委託料について、どの学校で委託先の何台のバスで回っているのか。また長期スパンで考えた場合、直営でやった場合、直営と委託した場合どっちが有利になるのか。

**答** スクールバスは大豊小学校が統合の際に豊川地区を2系統2台で運行するという内容です。2台動いた場合に色々な不測の事態が想定されます。委託することによって代替のバスがすぐ対応できるということも含めてこの委託となります。



二田新町児童館の現状

# 社会厚生

市はどう答えたか

委員長 西村 武  
副委員長 藤原 典男  
委員 佐々木 嘉一  
委員 千田 正英  
委員 大谷 貞廣  
委員 菅原 久和

## ●平成28年度一般会計 補正予算（第5号）

**問** 地域子供の未来応援交付金事業の今後の予定は。

**答** 現在子どもの貧困対策整備計画内検討会を立ち上げ、今後実施するアンケート調査の内容等を検討し外部委員で組織する、貧困対策協議会で内容を精査し年度内に子どもの貧困対策整備計画を策定予定としています。

**問** B型肝炎ワクチン予防接種の扱いと内容は。

**答** B型肝炎ワクチン予防接種は、定期予防接種で全員が受ける義務があり、対象となる方は、通知や赤ちゃん訪問、乳児健診等で保護者に説明し、接種勧奨をし、未接種者については他の定期予防接種と同じく、個別に通知等で接種勧奨を行います。

**問** 人工内耳用電池購入費助成金の対象者と内容は。

**答** 対象者は両耳とも90デシベル以上の高度難聴者で身体障害者手帳3級以上に

相当し、補聴器の装用効果が期待できない方です。

## ●平成27年度一般会計 歳入歳出決算の認定

**問** 一般廃棄物最終処分場が平成33年度には埋立終了見込みとのことだが今後の対応策は。

**答** 見込みでは平成33年度末で終了する予定ですが、今後の計画につきましては、現在の内部で鋭意検討中であり、計画案が出来次第、相談したいと思います。

## ●平成27年度国民健康 保険事業特別会計歳入 歳出決算の認定

**問** 国保税の不納欠損額は3,468万6千円となっているが要因は。

**答** 主に生活困窮者で時効5年間によるもので、対象件数は418件です。

**問** 加入世帯数の状況は。

**答** 加入世帯数は平成26年度は4,800世帯で、平成27年度は4,791世帯、人数で約100名の減となっており、毎年減少傾向が続くものと思います。

## ●平成27年度後期高齢 者医療特別会計歳入歳 出決算の認定

**問** 収入未済額、427万円となっているが要因は。

**答** 主に普通徴収者で平成26年度は滞納者101名でしたが、27年度は79名と改善傾向となっています。



# Q&A

# 産業建設

市はどう答えたか

- 委員長 小林 悟
- 副委員長 菅原理恵子
- 委員 鏡 仁志
- 委員 澤井昭二郎
- 委員 鈴木斌次郎
- 委員 伊藤 榮悦

## ●平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分

**問** 建設改良積立金の事業計画は。

**答** 昭和町後ポンプ場の移設と天王地区浄水場の統合を計画しています。また、水道配水管の老朽化による漏水が発生していることから、耐用年数が過ぎていて24kmを年次計画で更新していく予定です。



町後ポンプ場

## ●平成28年度一般会計補正予算（第5号）

**問** 未来農業のフロンティア育成研修事業費について

**答** 今回の補正は、未来農業フロンティア育成研修事業費補助金、年間90万円から国が行っている青年就農給付金準備型です。

**問** 青年就農給付金の受給年数は。

**答** 研修期間に受給できる青年就農給付金準備型が2年間、就農開始から受給できる青年就農給付金の経営開始型が5年間です。

## ●平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定

**問** 中間管理機構を通じた貸付け面積は。

**答** 経営転換協力金事業が、離農分16戸21・46ha、耕作者集積協力金事業、集積できる農地100筆分の24・51haです。

**問** 環境保全型農業直接支払交付金については。

**答** 対象者は、新規就農者で、無農薬などの有機栽培をおこなっている方です。昨今の農業労働状況は高齢化が進んでおり環境保全型農業は、手間がかかる理由

により現在1名の対象です。

**問** 経営所得安定対策推進事業費補助金については。

**答** 本事業の補助金は定額です。補助金の内訳は、天王地域農業再生協議会423万8千円、昭和飯田川地域農業再生協議会564万6千円です。

## ●平成27年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定

**問** 普及率2・9%で対象戸数は。

**答** 普及率は処理区域人口1,019人を市全体の人口で算出。また、処理区域の戸数は316戸です。

## ●平成27年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

**問** 補助事業、単独事業の施工単価や諸経費率は。

**答** 補助、単独の諸経費率は同等で、単独工事については、一般管理費、現場管理費率を若干下げて、施工

単価は、補助単独とも差違はありません。

## ●平成27年度合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定

**問** 市町村設置型の保守点検は。

**答** 年1回程度の汚泥の引き抜き、浄化槽内部の清掃です。

## ●平成27年度豊川財産区特別会計歳入歳出決算の認定

**問** 財産売払収入の目的は。

**答** 過去10年以上間伐等が行われていない森林を間伐、適正な森林の保全を図っています。

## ●平成27年度水道事業会計決算の認定

**問** 有収率が昨年より1・2ポイント上がった理由は。

**答** 有収率は総配水量に占める検針水量の割合で、漏水や不明水が少なくなり水の無駄がなくなったためです。

# 介護保険事業の今後の取り組みについて



藤原 典男  
議員

**質問** 政府は来年の国会に要介護1・2を介護保険の対象から外すという法律案を提出するようだが、詳細や本市の考えは。

**答弁** 要介護1・2の方を介護保険の対象から外し、原則本人の自己負担にすることについては、財政制度等審議会において、平成28年度末まで結論を得るというスケジュールですが、詳細はまだ決定ではありませんのでお答えできません。改革の内容が具体的に示された段階で、第7期介護保険計画

において検討してまいります。改正後の法律を重視しつつ、市で決定できる事項については、できるだけ介護を受ける方の立場になりまして、負担が増えないように事業を進めようと考えております。

## 小学校での英語教育の取り組みについて

**質問** 平成30年より小学校5年生から本格的に英語教育が始まるが、目標とするところや保護者への対応、教員の確保は。

**答弁** 学習指導要領では「小学校英語活動の目標」は「言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる」とあります。この目標を受け英語活動支援員の確保や教員の指



小学校でも始まる英語教育  
NHKラジオテキスト基礎英語3  
【発行元NHK出版】

導力向上に取り組み、PTA総会や学校だよりなどで保護者にお知らせします。

## デマンド型乗合タクシーの活用について

**質問** 高齢化が進み、地域の要望としてデマンド型乗合タクシーを望む声があるが、当局の対応は。

**答弁** 交通空白区域の解消を図る

ため、地勢等の状況や高齢化率等を勘案し、昭和豊川地域の株山、真形・草生土地区を対象に平成26年度から運行しております。今後の方向性ですが、少子高齢化が急速に進展する中で、高齢者の通院や買い物など、生活の足を守るための生活交通の確保は大変重要であると考えます。地域公共交通活性化協議会で潟上市地域公共交通網形成計画の策定作業を進めています。この中で市民やバス利用者を対象としたアンケート調査も予定しており、住民ニーズを把握し対応します。デマンド型乗合タクシーやマイタウンバス事業を含む公共交通は、費用対効果の面で厳しい状況にあります。利便性が高く持続可能な交通体系の確立に向け取り組んでまいります。

## 新婚さんを応援する事業について

**質問** 結婚新生活支援事業費補助金を活用してみてはどうか。

**答弁** 昨年度、潟上市総合戦略の策定にあたり、「結婚に関するアンケート」を市民千人に行い、現状を分析。結婚支援を進める上で行政に充実してほしい施策のうち「住宅費用の支援」と答えた既婚者は60%。未婚者へ未婚の理由を尋ねたところ、最も多かったのは

# 再生について



菅原理恵子  
議員

**質問** 官民協同・空き家バンク制度の導入については。

**答弁** 個人の資産活用としての側面も有しており、一義的には所有

**質問** ワンストップ窓口の設置については。

**答弁** 市への移住・定住を検討している方々の不安解消や相談対応等は、一般社団法人移住・交流推進機構が運営する「ニッポン移住・交流ナビ」や市ホームページ、秋田県移住・定住総合ポータルサイトなど通じ、情報を提供しているところ、空き家バンク制度を検討する際に考慮してまいります。

**質問** 災害時に秋田県防災情報システムを利用することで避難所・仮設住宅への入退去、救援物資の管理などに対応することについては。

**答弁** 災害時に秋田県防災情報システムを利用することで避難所・仮設住宅への入退去、救援物資の管理などに対応することについては、しかしながら、災害時に早期の罹災証明書の発行、義援金の配布など、被災者情報を一元的に管理するシステムは必要と考えており、県内市町村の情報収集を行いながら今後検討してまいります。



# 「参画」・「協働」は行動が基本 行動のあり方、方針を示すべき

者と民間市場の動向に委ねるべきと認識。  
より一層の高齢化の進行が予想されることから、空き家も増加が予想されますので、民間市場の動向等を注視しながら判断してまいります。



佐々木嘉一  
議員

**質問** 第二次市総合計画前期基本計画の重点テーマについて「市民参画と協働」「子育てと教育」「住みよさと魅力の向上」が謳われている。また、市自治基本条例は、市条例の最高規範として理念を定めている。したがって行政施策の推進上「参画と協働」は個別条例を制定して対処すべきではないか。

**答弁** 自治基本条例は、市政運営の基本スタイルを「参画」と「協働」とすることを定めたものです。潟上のまちづくりは、その趣旨に沿って進めるものであり、個別条例の必要は考えておりません。その他自治基本条例にはコミュニケーション活動や自主防災組織に対する支援等々が明記されております。ま

## 被災者支援システム 導入について

**質問** 被災者の状況を的確に把握し、迅速な対応が可能な被災者台帳の導入は。

た、第二次総合計画にも施策の方向が示されております。



老人クラブ大会の様子

## 第二次市総合計画と 財政運営について

**質問** 「第二次市総合計画」は序論、長期ビジョン（10年）前期基本計画（5年）で構成されている。

基本計画は社会経済情勢の変化によって流動的な側面もある。こうした観点から、3ヶ年毎の実施計画は重要である。  
本年度を初年度とする実施計画はあるか。

**答弁** 計画の実効性と信憑性を高めるため「実施計画」は必要です。市総合計画は「長期ビジョン」「基本計画」「実施計画」の三層構造であることから、本年度を初年度とする「実施計画」は策定済みです。「実施計画」は財政計画と一体的であり、毎年見直しをし、各事業の進行管理や予算編成に活用するものです。

**質問** 3ヶ年の実施計画（28年度～30年度）は策定済という答弁だが、財政計画との一体性から公表しないものか。  
**答弁** 基本的には事業の進行管理並びに予算編成資料として位置づけしており、公表はしていません。



「適当な相手にめぐり合わないから」が49・1%であったことから、出合いの機会の創出やあきた結婚支援センター入会登録料の助成事業、ワンストップの相談窓口の開設が先決と考え、本市の実情に合わせた出合いと結婚支援の充実を図ってまいります。

## 道路整備財源としての社会資本 整備総合交付金について

**質問** 前期基本計画の重点テーマに幹線道路、生活道路の整備がある。これら道路の整備財源として、社会資本整備総合交付金があるが、どのような手続きか。

**答弁** 道路整備に関わる補助制度が変わっており、市では国の助成制度であります社会資本整備総合交付金を活用して整備を進めます。交付金の活用については3～5年計画とし、整備計画書を国に提出します。交付金事業の整備要件としては、ストックの大きいアークセス道路、歩行者空間の確保、通学路等については重点配分となります。交付金の配分は、県に対し一括交付され、県内市町村に配分されます。

**質問** 交付金事業に該当しない道路の整備財源は。

**答弁** 交付金等特定財源の見込めない路線は地方債や一般財源で対応することになります。

# 第3回臨時議会

8月19日開催

第3回臨時議会は8月19日に開催され、一般会計補正予算を可決しました。

## ◆議案の内容

### ●一般会計補正予算（第4号）

全会一致可決

補正予算の総額は148万4千円の追加で、飯田川支団第2分団の秋田県消防操法大会出場に伴う経費です。

## 懲罰動議

議席番号14番 佐藤義久議員に対する懲罰の動議について

9月27日の予算決算特別委員会の休憩中において、佐藤義久議員が市当局への不適切な発言があり、また付託されていない案件について反対討論をしたとして、取下げ動議が可決されたが応じなかったとして、28日の本会議最終日、佐藤議員に対する懲罰動議が提出されました。

これを受け、市議会では懲罰特別委員会を設置し審議を行いました。その結果、佐藤議員には「戒告」が妥当と判断し、堀井委員長が報告しました。本会議での採決の結果、14対2の賛成多数で佐藤議員への戒告が可決となりました。

## 第7回 議会報告会を開催しました

平成28年度議会報告会を市内3か所で開催しました。市民の皆様からいただいたご意見ご要望については市当局に報告し、この後その対応策等について市民の皆様にお知らせいたします。

開催場所および参加人数は次のとおりです。

日程	会場	参加人数
10月21日 (金)	天王公民館	7名
	昭和公民館	7名
	飯田川公民館	4名
合計		18名

## 関係私企業との請負契約等の状況について

議会議員政治倫理条例にかかわる関係私企業との請負契約等の状況について、市長より報告がありましたので次のとおり公表します。

【平成28年5月1日～平成28年7月末日】

関係する議員	事業名	請負契約等の内容	請負人の氏名	契約形態	請負契約等の金額 (実績額)	発注期日 (契約年月日)	契約期間
千田 正英	市単独事業	活性炭納入	㈱チダ薬局 代表取締役 千田 健一	競争入札 (単価契約)	734,400円/t (741,744円)	平成28年5月11日	平成28年5月11日～ 平成29年3月31日
		炭酸ソーダ納入		競争入札 (単価契約)	140,400円/t (561,600円)	平成28年5月11日	平成28年5月11日～ 平成29年3月31日
		凝集剤納入		競争入札 (単価契約)	23,328円/t (93,312円)	平成28年5月11日	平成28年5月11日～ 平成29年3月31日
		苛性ソーダ納入		競争入札 (単価契約)	75,600円/t (105,840円)	平成28年5月11日	平成28年5月11日～ 平成29年3月31日
		プール用薬品購入		随意契約	619,272円	平成28年5月20日	平成28年5月20日～ 平成28年6月17日

※実績額は平成28年7月末日現在

# 常任委員会行政視察研修報告

総務文教常任委員会

7月13日～15日

## ●京都府木津川市

### ◎公共交通網の整備について

平成27年に木津川市公共交通網形成計画を策定し、利用促進のため1日フリー乗車券の導入や、バスは視認性を高めるため大胆なラッピングを採用、また毎月「公共交通だより」を発行し市民への情報提供をはじめ公共交通への問い合わせを行っています。更に、バス運行事業者の乗務員によるワークショップも開催され、各路線が抱える問題点や改善策等について話し合い、施策へフィードバックされています。

## ●兵庫県篠山市

### ◎たんば田園交響ホールについて

施設は鉄筋コンクリート2階建、座席数800席、総工費11億2千万円。文化芸術の鑑賞や発表、協働や参画、集いの場として市民みんなが「感動・創造・交流」できる拠点を基本理念の3本柱とした多目的ホールです。利用状況は、入館者数46,299人、利用率94・3%となっています。事業は①ホール貸出し②年間10本の自主公演事業③市民協働企画事業の3つに分かれています。職員5名の他、舞台案内30名のボランティアで年間の運営を行っています。

## ●京都府南丹市

### ◎今後の財政運営について

南丹市では、市債の発行は平成30年度までがピークで31年度以降は大きく減少するので、平成29年度からの基金を活用しながら財政運営を進め、一層の行政改革の取り組みにより人件費や公債費の抑制を図り、収支均衡を目指すとのことでした。合併により重複する公共施設の廃止・転用など再編についても、市有財産等処分内部検討委員会を立ち上げ、統廃合を進めていました。

社会厚生常任委員会

7月20日～22日

## ●山梨県甲府市

### ◎障がい者福祉サービスの取り組みについて

甲府市では平成27年度を初年度とし、甲府市障がい者福祉計画に基づき各種障がい者福祉サービスを実施しています。視察先の甲府市障害者センターは当初、身体障害者デイサービスセンター、知的障害者通所支援施設としてスタートし、制度改正を重ね現在は生活介護、自律訓練、就労支援、就労継続支援B型の多機能型事業を一日約60人の障がい者が通所活動を行っています。

## ●山梨県山梨市

### ◎空き家バンクについて

山梨市では平成18年に空き家バンク制度がスタートし、山梨県宅地建物取引業協会と空き家バンク仲介に関する協定を締結し事業を進めています。効果として、契約が協会の役割となることから行政では事務の軽減、リスク回避になり情報発信に専念でき、事業実績として問合せが月平均約60件以上、利用登録者数441人、成約件数80件、移住者が160人と、一定の効果を見せています。

## ●山梨県韮崎市

### ◎健康ポイント事業について

韮崎市では「健康寿命の延伸を目指して心身ともに健やかに、一人ひとりの健康づくり」を基本理念に第二次韮崎市健康増進計画を策定しました。地域・行政や関係機関等の交流や連携を進め、地域ぐるみの健康づくりを推進しています。平成28年4月より健康ポイント事業がスタートし、20歳以上の市民にポイントカードを配布し健診とウォーキングに応じポイントを付与し、百ポイントになった場合は千円のクオカードを贈呈しています。

産業建設常任委員会

7月13日～15日

## ●三重県亀山市

### ◎観光振興ビジョンについて

市の観光振興のあり方について総合的、計画的な観光振興方策の位置づけを目的としています。政策方針は、①埋もれた資源の発掘・磨き上げ②まちづくり観光の視点を取り入れる③他計画、調査との整合を図る④市民、団体の参画を得る。市の地域資源を実感してもらうために、体験型・体感型の交流、観光モニターツアーの実施、都市部における物産紹介等シティブロモーション活動等を行っています。

## ●滋賀県甲賀市

### ◎6次産業化の取り組みについて

現在市の認定件数は30経営体あり、県内最多です。目標として、①経営の多角化による新たな収入源の確保②一農家逸品づくりです。これからの6次産業化では生産者と販売者が分業体制を構築すること、また企業や大学と連携も検討するとしています。これにより甲賀農産物のブランド化推進、また以前から学校給食等で気運の高まりがあった地産地消を推進していくことが示されました。

## ●滋賀県湖南市

### ◎景観計画について

湖南市らしい景観を守り、次世代へ継承するとともに市民が豊かさを実感できるまちづくりを目指すため、平成25年に「湖南市景観条例」を制定しました。その方針は、①自然景観の美しさを守る②受け継いだ歴史文化が薫る伝統的景観を継承③後世に残る美しく魅力的な景観を創造する④みんなが日々の暮らしの中で「美しさ」を意識する。となっています。

平成28年

# 9月定例会各議員の賛否一覧(全会一致を除く)

(〔○〕：賛成、〔×〕：反対、〔欠〕：欠席、〔議〕：議長)

会派名	議案等		発議第2号	認定第1号	陳情第14号
	氏名				
新生クラブ	代表	小林 悟	○	○	○
		千田 正英	○	○	○
		伊藤 正吉	○	○	○
政友平成会	代表	大谷 貞廣	×	○	○
		児玉 春雄	×	○	×
		澤井 昭二郎	×	○	○
改革クラブ	代表	佐々木 嘉一	○	○	○
	副代表	戸田 俊樹	○	○	○
		鈴木 斌次郎	○	○	○
		菅原 久和	○	○	○
新光会	代表	藤原 幸雄	×	○	○
	幹事長	西村 武	×	○	○
		鏡 仁志	×	○	○
会派に属さない	日本共産党	藤原 典男	×	○	×
	公明党	菅原 理恵子	○	○	○
	生新会	堀井 克見	×	○	○
	新星だるま会	佐藤 義久	○	×	○
	議長	伊藤 榮悦	議	議	議
結果			原案可決	認定	採択

- ※ 発議第2号 潟上市議会予算決算特別委員会の設置に関する決議について
- 認定第1号 平成27年度潟上市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 陳情第14号 沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情

## 編集後記



9月定例会は、各会計の補正予算審査と、平成27年度一般会計・特別会計決算の認定等を行いました。認定の意義は27年度で執行された予算が計画通りか、また費用対効果の検証など、次年度の予算配分の参考にもなる大事な審査となっております。

私共議員は、市民から選出され、市の各種事業を支える一般会計並びに特別会計等の審査に関わっておりますので、今後も市民の負託に応えられるよう頑張っていかなければならないと強く感じているところです。

(西村 武記)